

13 エピローグ・淫魔王イリウス

あらすじ：

勇者が墮ちて、魔王軍に下った後のことである。

魔王軍の王子、イリウスの部屋。

彼に奉仕する、一人の男がいた。

それは、むかし勇者と呼ばれていた者。

発情し、喜んで敵のペニスをしゃぶる、淫乱な男。

かつての面影はなく、快楽の赴くまま、奉仕を続けるのであった。

登場人物：

イリウス（魔族の王子）

プレイ：

フェラで、イリウスに奉仕する、足コキをされる。

=====

（魔王軍。王子の部屋。暗がりに、2つの影が浮かび上がる）

イリウス：

んっ…、んっ…、んっ…、はあ…つ…♥

いいぞ…。そうだ…。もっと…、舌を使え…？

んっ……、はっ……、はっ……♥

うまいじや、ないか…♥

アルたちの調教は、いつも、完璧、だな…♥



ふふ…。

これが、かつて我々を苦しめた男だと…、
だれが、信じるだろうな…？

淫魔の王子である私の…、んっ…、はあ…、はあ…、
下着越しのペニスを、なめまわして…、
んっ…、はあ…、はあ…、んっ…♥

つと…♥

脱がせてきて。勃起した肉棒、嬉しそうに眺めて…、
頬ズリして…、んっ…、んっ…、はあ…、はあ…。
鼻をクンクン鳴らして、香りを楽しんでのが、
あの勇者様だと、誰が、信じるだろうな…？

ふふ…、いいぞ…。

硬く、激しく反った竿や…、
張り出したエラを、舌の中央で、根の方で、ねぶったり…、
はあ…、はあ…、んっ…、はっ…。

先端でつついたりして…、責めるんだ…。
んっ…、っく…、んっ…、はっ…。。

さすが、勇者様。飲み込みが、早い…。

舌の具合も、とても、いい…ぞ…。
ザラザラの粘膜が、チンコの上、滑って…。
んっ…、はあ…、はあ…、はあ…。

んっ…♥

たまらず、先走り、できてしまった…。
ふふ。釘付けになりおって…。
吸いつきたいか？ これで、喉を、潤させたいか？

いいぞ…。ただし、ゆっくりとだぞ…？♥

そうだ。唇すばめて、鈴口に、キスをして…。
んっ…♥ んっ…♥ んっ…♥♥ んっ…♥♥

吸い取って…、んっ…、んっ…、んっ…、んう…♥

それから。キスの度、徐々に深く、吸いついていく…。
んっ…♥ んっ…♥ んっ…♥ んう…♥

うあ、くわえ、こまれて…、
亀頭を、んっ…、唇で、しご、かれ、る…つ…♥♥
んっ…♥ んっ…♥ はっ…♥ はっ…♥ はっ…♥♥

カウパーに、お前の唾液も、まざって…♥♥
ぐちやぐちやの、ネバネバで…つ…♥♥

うつ…♥♥ はつ…♥♥ うつ…♥♥ はつ…♥♥ はつ…♥♥
とろけ、そうだ…♥♥
んうう…つ…♥♥

すごい、な…♥

カリに唇、ひっかけ、られて…♥♥ 往復、されて…♥♥
空気まざって、音、いやらしい、ぞ…つ…♥♥

はつ…♥♥ はつ…♥♥ はつ…♥♥ はつ…♥♥

んっつ…♥♥ はっつ…♥♥ はっつ…♥♥ はっつ…♥♥



なあ…、ところで、わかってるよな？
この部屋の様子は…、その水晶玉を、指輪を通じて。
隣の部屋の剣士様に、つつぬけなんだってことが…。

いいのか？♥ そんな、性奴隸のように、
魔族に奉仕してて、いい、のかつ？？

んうっ…♥♥ はっ…♥ はっ…♥ はっつ…♥
うつ…♥ う、裏筋いつ…♥♥ 重点的、に…つつ♥♥

ふふ。ダメなのは分かっているが…、衝動が抑えられない…、
そんな、いい顔、だなっ♥♥
涙浮かべて、顔真っ赤で…、とっても、そそる、ぞっ…♥♥

あううう♥♥うぐっつ♥♥はっつ♥♥はうう♥♥
そ、そこ…つつ♥♥
いっちょ前に、私の弱点、探りおって…♥

じやあ、こうだ。こっちも手、伸ばして…。
お前の乳首を、両指で、つまん、でっ♥♥

ぎゅっつ♥♥
フェラチオする度、はさみこんで…、刺激、してやる♥

ぎゅつ…♥ ぎゅつ…♥ ぎゅつ…♥ ぎゅつ…♥♥
ぎゅつ♥ぎゅつ♥ぎゅつ…♥

んっ…、はっ…、はっつ…♥ 気持ち、よさそうだな？
見事な働きには…褒美を出さないとな…？ ふふふつ…♥

んっ…♥ はっつ…♥ はっ…♥ はっつ…♥

はっ…♥ はっつ…♥ はっつ…♥ んう…♥

くうつ…、根本のほうまで…、喉使って、激しいっ…♥♥

いいぞ…♥ いい、ぞっ…♥ はっ…♥ はっつ…♥ はっつ…♥♥

くうう♥♥ これ、まるで、犯されてる…、みたいだ…♥

男の…、口まんこで…♥♥

んっつ…、はっつ…、うっつ…、はっつ…♥

こら、フェラしながら、自分のを触ってるんじゃない…。

ふふ。そんな顔を、するな。ジラしたいわけではない。

こう。私が、両足をのばして…。

お前のチンポ、挟み込んでやるんだからなつ♥

ほおら……、ぎゅつつ♥♥♥



くく♥ 私に負けないくらいに、カチカチではないか♥

魔族に奉仕して、そんなに感じているのか？ この、好き者め…♥

ん。その通りだ。

私も、お前を気持ちよくしてやる♥ 特別、だぞ？

ほら、両足合わせたまま…、激しく、前後させて…、、

んっつ…♥♥ はっつ…♥♥ はっつ…♥♥ はっつ…♥♥

はっつ…♥♥ はっつ…♥♥ んっつ…♥♥ はっつ…♥♥

どうだ？ 私の、足コキは♥
お前のフェラにあわせて、しごいてやる。

んっ…♥ はっ…♥ はっ…♥ はっ…♥
はっ…♥ はっ…♥ はっ…♥ はっ…♥
口のねじりにあわせて、こう、左に荷重をかけたり…、
ぐちゅ…♥♥ ぐちゅ…♥♥ ぐちゅ…♥♥ ぐちゅ…♥

右にも、ねじったり…♥♥
ほらっ…♥♥ ほらっ…♥♥ ほらっ…♥♥ ほらっ…♥♥
ほら、ほら、ほら、ほら…♥♥

んああ♥♥ こら、先っぽ、ペロペロペロって…
あつつ♥♥ あつつ♥♥ んうう♥♥ あ～つつつ♥♥♥

な、なら、こっちもこうだつ。
先端、土踏まずで、ぐりぐりぐり、ぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐり～っつ♥♥
ふふふつ♥ 感じるな？ お互い、感じるな？

んっ…♥♥ んっ…♥♥ んっ…♥♥ んっ…♥♥ んっ…♥♥
はっ…♥♥ はっ…♥♥ はっ…♥♥ はっ…♥♥ はっ…♥♥
はっ…♥はっ…♥はっ…♥はっ…♥はっ…♥はっ…♥はっ…♥♥



んっつ？？♥♥ ちょ、こら、睾丸、そんな、揉む、なっ…。
んうう♥♥ コリコリ♥♥ んあ♥♥ はああ…♥♥
な、なにが、「上がってきてますね」、だ…。

お前のタマだって、
ほら、足の甲で、グリッ、グリッ、グリグリグリグリグリッ♥♥

こんなに膨らんで、きゅんって、上がりきっているではないか…♥

んつつ♥♥ はつつ♥♥ はつつ♥♥ はつつ♥♥

竿も、こんなに、張りつめさせて…、

ふつつ♥♥ はつつ♥♥ はつつ♥♥ はつつ♥♥

はつつ♥♥ はつつ♥♥ はつつ♥♥ はつつ♥♥

イキそう、イキそう、なんだろう？♥

よし…、よしつ…、そのまま、フェラチオ、続けてるんだぞ…♥♥
こっちも、そろそろ、だからつつ…♥♥

うつつ♥♥ うつつ♥♥ うつつ♥♥ うつつ♥♥ うつつ♥♥
んつつ♥♥ んつつ♥♥ はつつ♥♥ はつつ♥♥ はつつ♥♥

イくときは、一緒にだぞ？

快感が、けた違い、だからな…っ…！♥

んおつ…♥

頬肉の吸いつき激しく、なって…♥♥ しご、かれてつ…♥♥

うつつ♥♥ あつつ♥♥ あつつ♥♥ あつつ♥♥ あつつ♥♥
あつつ♥♥ あつつ♥♥ んつつ♥♥ ふああ…♥♥

も、もっていかれ、そうだつ…♥♥

はつつ♥♥ はつつ♥♥ はつつ♥♥ はつつ♥♥ はつつ♥♥
うつつ♥♥ あつつ♥♥ んつつ♥♥ あつつ♥♥ あつつ♥♥

なら、こっちも、こうだつ…♥♥

お前の乳首、また、つまんでつつ♥♥ ぎゅつつ♥♥
フェラに、足コキにあわせて、刺激、しまくるからなつ…♥♥♥♥

ん` つつ♥♥ ん` つつ♥♥ んつつ♥♥ んつつ♥♥ んつつ♥♥
んつつ♥♥ んつつ♥♥ んつつ♥♥ んつつ♥♥ ん` つつつ！♥♥

ほら、イケつ♥♥ イって、しまえつ…♥♥

淫魔の王子のチンコ、おもいっきりしゃぶりながらつ…♥♥♥

ん` つつ♥♥ んつつ♥♥ んつつ♥♥ んつつ♥♥ ん` つつつ♥♥

はつつ♥♥ はつつ♥♥ はつつ♥♥ はつつ♥♥ はあつつ♥♥

自分の乳首も、チンコも、しごかれてつ…♥♥

情けない顔で、絶頂して、しまえつ…♥♥ ほらつつ…♥♥♥

ん` つつ！♥ん` つつ！♥ん` つつ！♥ん` つつ！♥ん` つつ！♥♥
う` つつあ` つつあ` つつあ` つつあ` つつあ` つつ…♥♥

のつ、のど奥まで、すい、こまれてつ…♥♥

あ` つつ♥♥あ` つつ♥♥あ` つつ♥♥あ` つつ♥♥あ` つつ♥♥
あ` つつ♥♥あ` つつ♥♥あ` つつ♥♥あ` つつ♥♥あ` つつつ！！♥♥

イク…！ イクイク、イクうう……っつ！ !♥♥♥

う つう つつ、
あ つあ ～ ～ ～ つつつつ♥♥♥

ん あ あ あ あ あ ～～～ううううつつ♥♥



ん っ♥ ん っつ♥ ん あ あつつ♥
ん っつ♥ う っつ♥ ん んう～つつ♥

出てる…、出てる…つつ♥♥
セーシ、お前のナカで…、ノドの奥で…、どっぷり、とつつ…♥♥♥

んつつ…、はあつ…、はあつ…、はあつ…。。
こぼす、なよ…？ いってき、残らず…、魔物せーえき、
しっかりと、飲み干すんだぞ……？♥

はあ…、はあ…、はあ…、はあつ…♥
頭、ガッチリ、両手で押さえててやるから…、
のどを鳴らして。熱々のせーし。
ゴクゴク、胃に、ながし、こめ…つつ♥♥

んつつ…♥ はあつ…♥ はあつ…♥ はあ…♥
うあ…？？ あ、あ…、ぐあ…。。

チ、チンポに、舌が、はいまわって…♥♥
みっちり、頬で、吸いつかれて…♥♥
尿道の、タマの芯からつ、精液、吸い取られるつ……♥♥♥

んああ…♥ ああ……♥ あああああ…♥
とんだ変態、だな……♥
男のくせに…、がっつくように、せーえき、ほしがって…。
んつつ…♥ はあ…、はあつ…。

女でも、こんな淫乱、そうは、いない、ぞ…。

いいぞ、セーシ急造して…、思う存分、飲ませて、やる…っ♥♥
はつ…♥♥ はつ…♥♥ はつ…♥♥ はつ…♥
んつ…♥♥ はあ…♥♥ はあ…♥♥ んあ…♥♥

はあ…、はあ…、はあ…、はあ…。
はあ…つつ…。

…

抜く、ぞ…？
ほら、いつまでもくわえているな…。
淫乱男めが…♥

ふう…つつ。

んつ…、はあ…、はあ…。
とても、良かったぞ…？
サキュバスと同等…、いや、それ以上だった…。

やはり、Hは、男同士に限るな…♥
真に敏感なところは、
女など分かるわけがないからな…♥ ふふつ…♥

ほら、立てるか？
とと、私に寄りかかってきて。
んつ、ちゅふ、ちゅふ、ちゅふ、ちゅううつつ♥♥

んじゅ…。
淫魔の体液は、甘美な酒のようだろ？
胃から、体中に、染み渡って。
頭を、四肢をトロケさせるのだ…。

ふふ。目を泳がせて、ピクピク跳ねおって…。
少し休ませてやろうかと思ったが、続行だな…。
あむ♥ ちゅふ、ちゅふ、ちゅふ…。
我慢など、できそうにないわ…。

んちゅ、ちゅふ、んむ。
ちゅふ、ちゅふ、ちゅむ。

ほら、私のベッドへ、こい♥
お前に、本当の天国を味わわせてやる。

んつ♥
おまえの想像を越えた極上の快楽。
身体に刻み込んでやるからな…。

ふふふつ…♥♥
ちゅふ、ちゅふ、ちゅふつ…♥♥
んちゅ、ちゅふ、ちゅふ…♥